

自動お絞り製造機

WET TOWEL

使用説明書



WG-2000

目 次

1. WET TOWEL (WG-2000) の特徴	3
2. 製品各部分の名称	4
3. 設置方法	5
4. 使用方法	6
5. 作動方法	
1) タオルの長さ調節方法	8
2) 水温度、水量調節方法	9
6. 作動異常時の点検事項	10
7. 注意事項	12
8. A/S要請前の点検事項	13
9. 製品規格仕様	14

※ 製品の安全とより便利にご利用頂く為に使用前にこの説明書をお読みください。

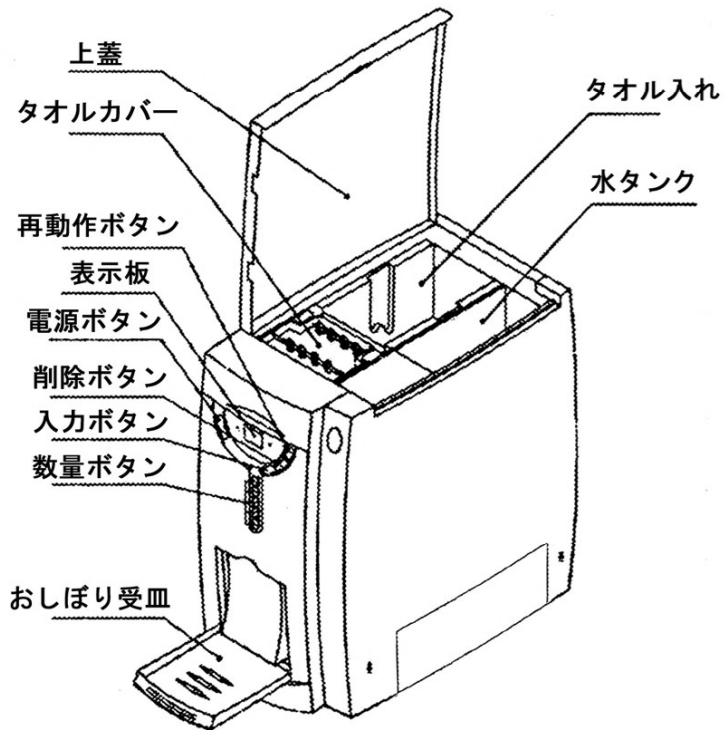
WET TOWELの特徴

WET TOWELはこれまでのどの製品よりも使用が便利で、簡単な構造方式で設計され、アフターサービスをする場合も簡便です。**UVフィルタ**と**活性炭素フィルタ**方式を採用して人体に害のないもっともきれいなお絞りタオルを提供します。

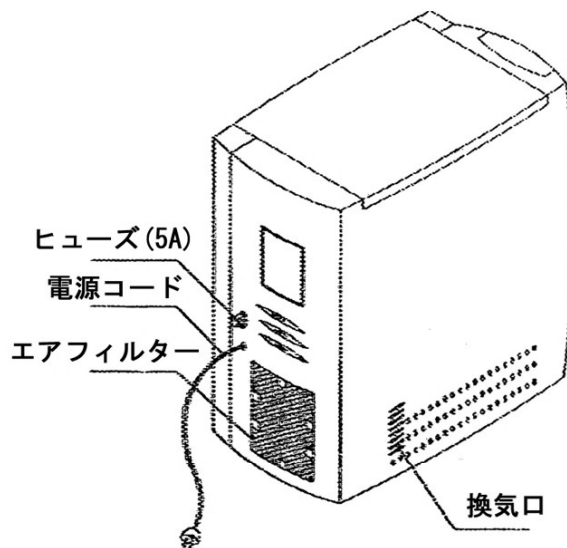
1. アフターサービスが簡単にできるように設計され、機能性を重視した製品です。
2. 温水タンクがステンレスで作られ、ノズルのスケールが無いのでこれまでの詰まり現象の悩みを解決しました。
3. 温水システムは60～95℃で温度調節ができます。
4. タオルの長さは20～35cmまで自由に調節できます。
5. 水タンクの容量は2.4リットルです。
6. ワンタッチ式の先端技術を取り入れた製品です。
7. UVフィルタと活性炭素フィルタは水の中の細菌、放射能、微粒子（有機物、無機物）、塩素、THMを除去し、2次汚染を減らしました。

2.製品各部分の名称

前面



裏面



3.設置方法

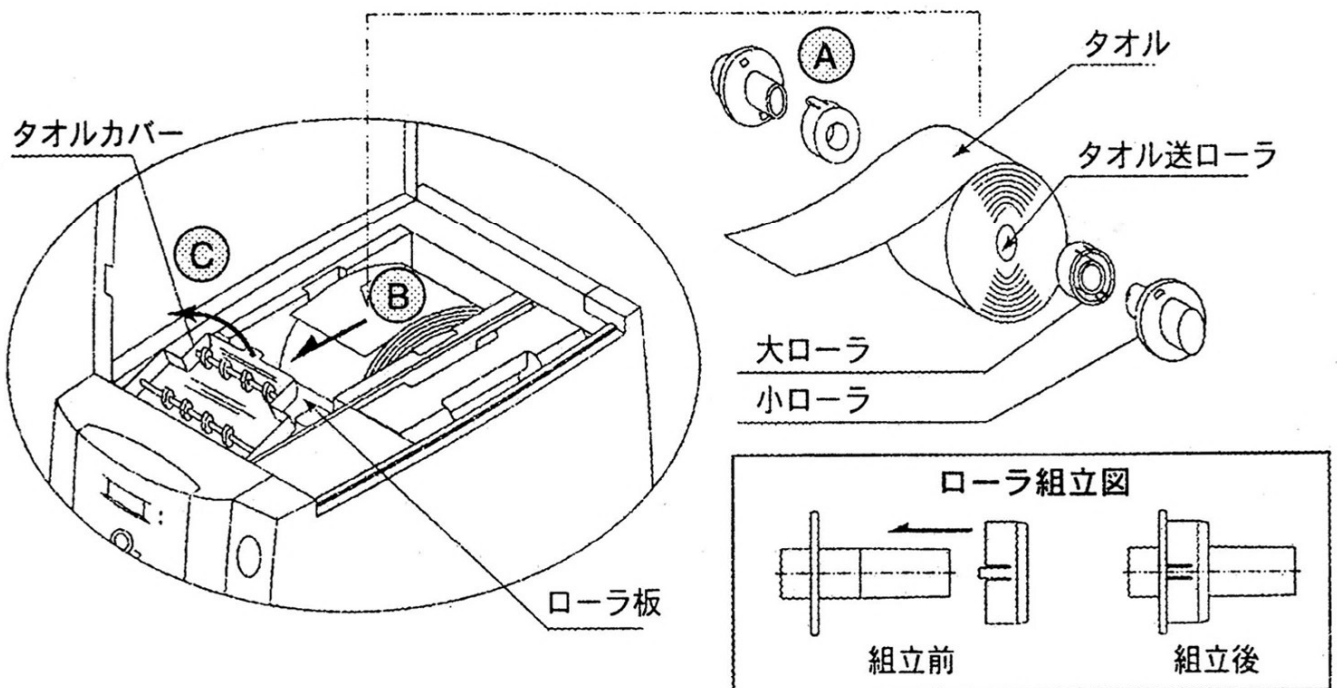
<p>使用電源確認</p>	<p>100V 50/60Hz</p>	
<p>他家電製品 周辺には設置し ないようにして 下さい。</p>	<p>周辺に過電流及び 負荷が発生すると 誤作動及び故障の 原因となります。</p>	<p>エアコーン 冷蔵庫</p> 
<p>水平で安定した 場所に設置して 下さい。</p>	<p>水平に安定してな いとタオルの乾き 状態等に異常なき たし、クレーム発 生の原因となりま す。</p>	
<p>湿気の多い所は 設置しないで 下さい。</p>	<p>湿気の多いところ に設置すると機械 の寿命が短縮し、 故障の原因とな ります。</p>	
<p>機械の上には 重い物を置か ないで下さい。</p>	<p>重い物を上に置く と機械の破損と故 障の原因となりま す。</p>	

4.使用方法 -A-

▶ 全般的な作動方法は下記矢印の図のように操作すると作動します。



電源が入った場合でも冷、温選択が可能です。



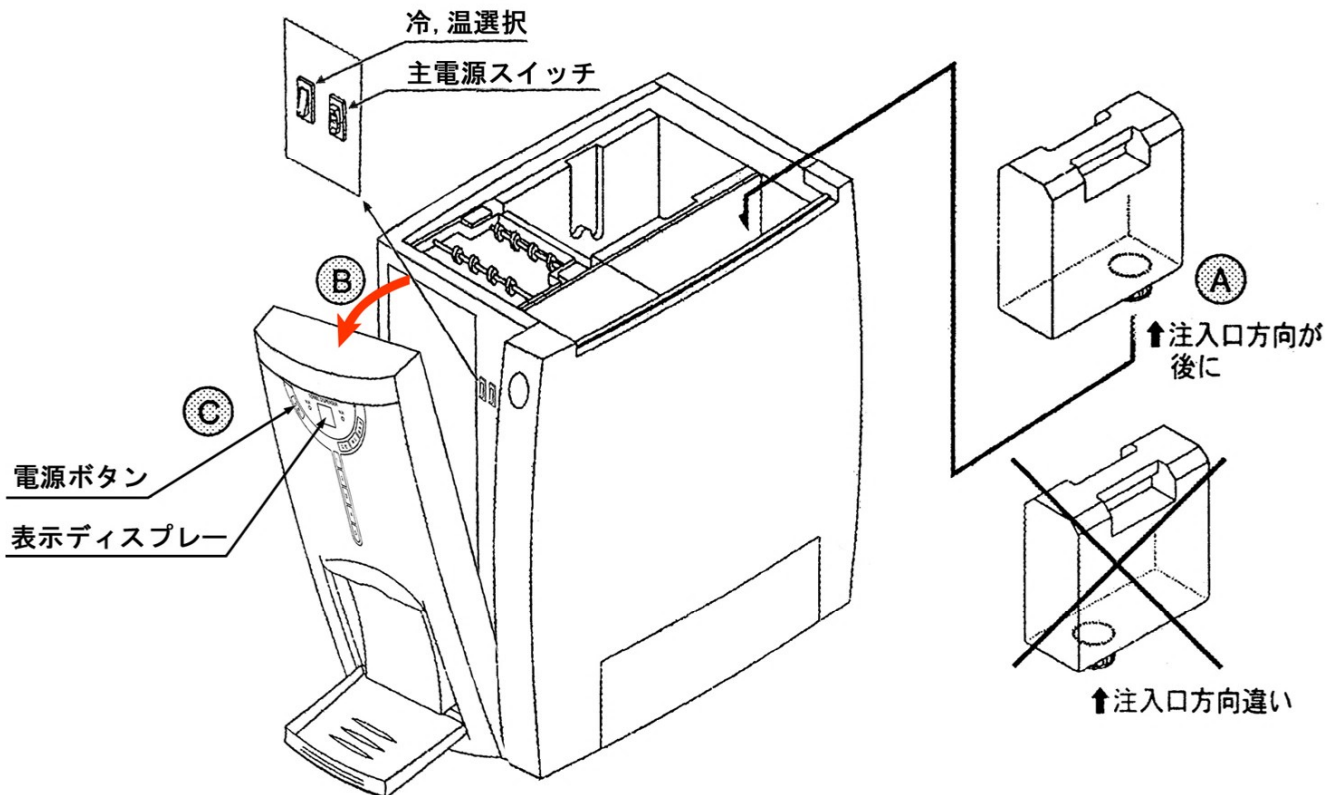
▶ タオル固定方法(セット1)

1. タオル固定方法を確認する。
2. 小さい穴のときは1インチを使用する。
3. 大きい穴のときは1.5インチカバーを組み立てタオルを固定する。(組立方法は上図Aのように)
4. タオルを固定したら、図Bと同じく本体に収める。

▶ タオルセット方法(セット2)

1. タオルを整えて図Cと一緒にタオルカバーを矢印方向に持ち上げタオルカバーとローラ板の間によく整えて挿入する。
(この時ローラ板端から約5~6cm適度きちんと差込む)

4.使用方法 -B-



▶ 水タンクを取扱方法

1. 水タンクはきれいな水を入れて、図Aの方向で所定の(矢印)所に入れる。
※注意：方向を間違えないように入れてください。間違えると作動しません。

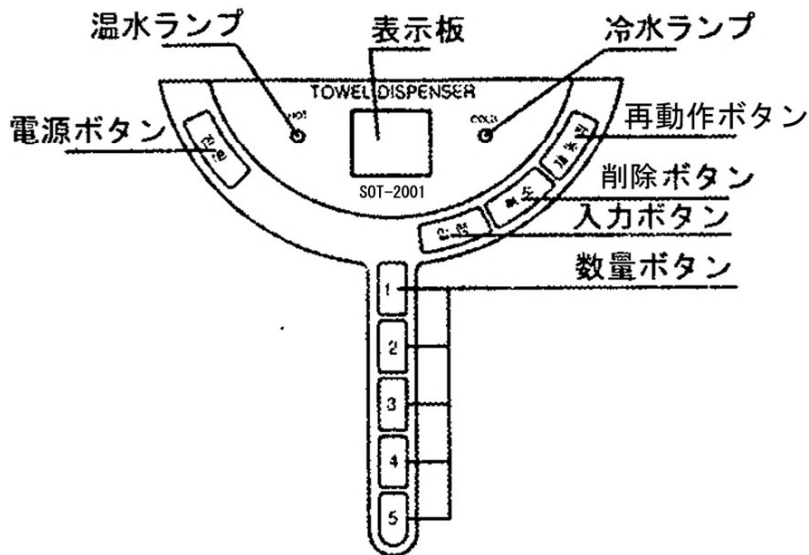
▶ 主電源及び冷(常)、温、温度設定方法

1. 前面部の図Bの方向に引張って開けて下さい。
 2. 矢印方向に開けると各スイッチがみえます。
 3. ここで、先に冷(常)、温、いずれかを1つ選択して下さい。
 4. 最後に主電源スイッチを入れます。
- ※長期間使用しないときは電源を切して下さい。

▶ 前面電源

1. 上記の順序で準備し、次ぎは図Cにある前面部電源ボタンを2~3秒間押しますと表示灯にピーという音と共に灯がいたら機械は正常で準備完了です。

5.作動方法 -A-



▶ 作動方法

1. 電源を入れる時は電源ボタンを2~3秒押して下さい。
2. 電源を切る場合も電源ボタンを2~3秒押して下さい。
3. 必要枚数を決めて、ボタンを押して下さい。6枚以上の時は、枚数のボタンを押して加算して、下記説明のように操作してください。この時表示灯に全枚数が表示されます。
(例) a) 1~5枚必要時：1~5ボタンの中でいずれか1つを押すとよい。
b) 6枚必要時：3+3(3を2回押す) 2+2+2というふうに
c) 12枚必要時：5+5+2又は4+4+4

▶ タオルセット方法

1. 入力ボタンを押しながら同時に数量ボタン1を押すと表示灯にPが表示され、間もなく20~35の中の数字が表示されます。(“P”はPAPPERの略です。)
2. もし“25”が設定されていたら、長さが25cmになっているという事です。再度30cmの長さがほしい時は数字ボタン1+1+1+1又は2+2+1又は2+3のいずれか1つの方法でボタンを押した後(この時表示窓数字は“30”表示)入力ボタンを再度押すとピーという音と一緒に設定完了です。



5.作動方法 -B-

▶ 温水温度調節方法

1. 入力ボタンを押しながら同時に数量ボタン2を押しますと表示灯“H”が表示され、まもなく60～95間の数字が表示されます。
(HはHEATERの略です。)
2. 万一90に設定されていたら90℃であることを示し、再度95℃ほしい時は90表示窓に1+1+1+1+1又は2+2+1又は2+3いずれかの方法のボタンを押した後、(この時表示窓に95が表示される)この時入力ボタンを再度押すとピーという音と一緒に設定完了です。



▶ 水量調整方法

1. 入力ボタンを押しながら同時に数量ボタン5を押すと現在水量の数字が表示されます。水量をあげる場合は設定値を現在より2～5位上げます。
 2. 逆に水量を少なくする場合は設定値を現在より2～5位低くします。
(0～20まで設定可) 入力ボタンをまた押すとビーという音と共に選択された値が最終決定になります。1～2本出して水量を確認してから再設定します。
- ★追加的に水量調整がもっと必要な場合、前面パネル開いて中央部分にあるノズルバルブを上下調整して水量を調節します。下から上に回すと水量増加、上から下に回すと水量減少になります。

最初の設置の場合には入力ボタンと数字“4”ボタンを同時に押してUVフィルタと活性炭フィルタの中の空気を十分に取り出して下さい。

▶ 調整中取消したい時(共通事項)

色んなボタンを押しながら調整しているうちに取消ボタンを押すと入力取消になります。

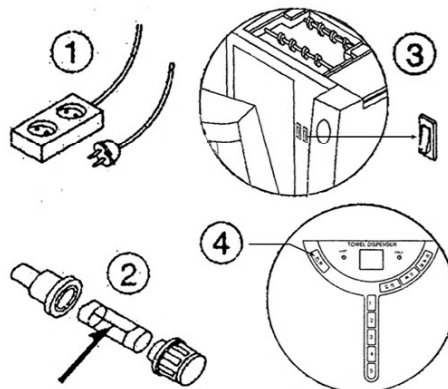
▶ 表示板メッセージ

1. 本製品はタオル又は水が使用中切れたら自動的に警報音と表示板にメッセージが出ます。
E1-タオル又は水が使用中切れた時 E3-タオルモータ異常時
E2-水が使用中切れた時 E4-カッターモータ異常時
E5-前面パネルが開いている時

6.作動異常時の点検事項 -A-

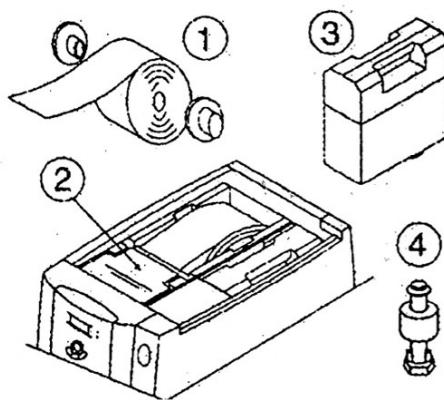
電源が
入らない

1. コンセントとコードの確認
2. ヒューズ(8A)の確認
3. 主電源スイッチ確認
4. 前面部電源ボタン確認



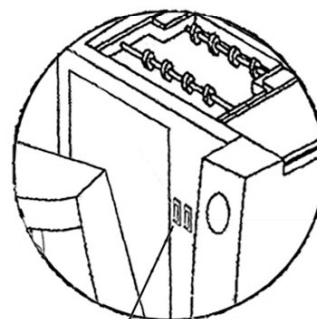
タオルが出ない

1. 機械の中に紙ロールがセットされているかの確認
2. タオルカバーにタオルが挟まっているか確認
3. 水タンクの水の確認
4. 水タンクの底部のセンサーを動かしてみます



冷たくならない

1. 切替スイッチ確認



暖かくならない

1. 切替スイッチ確認
2. 切替スイッチを入れて15分位でホットタオルが使用出来ます
3. 同じく温かい水が10～15分位で出ます



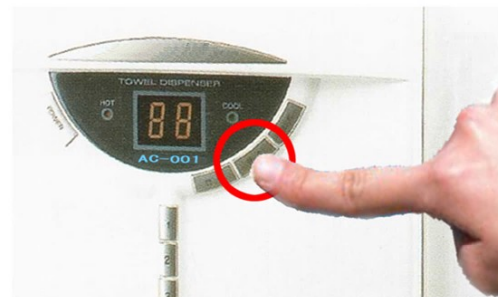
6.作動異常時の点検事項 -B-

タオルが
途中かかった時

1. 前面部を開けます。



2. 開けたまま削除ボタンを押したら逆回転されます。



3. 削除ボタンで刃を作業しやすい所に位置させます。



4. かかったタオルをピンセットを使って安全に除去します。



5. 前面部を閉じて電源ボタンを押して電源を点け直します。



7.注意事項

水使用時 注意事項

1. 塩分を含んだ水は使用しないで下さい。
2. 石炭石の含有する水は使用しないで下さい。
3. きれいな水を使用して下さい。
4. 水が汚れていると故障の原因になります。

タオルをきちんと 入れて下さい

1. 当社指定のおしぼりロールを使用して下さい。
2. 紙先をまっすぐ伸ばして入れて下さい。
3. 2枚以上かさねないようにして下さい。

清潔状況の点検

1. 水のタンクは必ず1週間に1度掃除して下さい。
2. 水のタンクの外部も1週間に1度掃除して下さい。
3. 紙のロール部分周囲をタオル入れ替え時に拭き取って下さい。

紙は必ず指定の ものを使用する

1. おしぼりロールは必ず当社指定の50g & 80gをご使用ください。
2. 湿気のない所で保管して下さい。
3. 当社指定のおしぼりタオル以外のものを使用しないで下さい。故障の原因になりアフターサービス範囲外になります。

9.A/S要請前の点検事項

1. 製品コードとプラグとの連結確認
2. 電源確認
3. ヒューズ確認
4. 主電源S/W確認
5. タオルがあるか確認
表示板 “E1” 表示確認
6. 水タンクの水の確認
7. 水タンクの底部のセンサー確認
8. 排水口のフタ確認
9. 前面カバーを開け異常がないか確認

製品規格仕様書

電気用品安全管理表示項目

区 分	規格及び機能
電 源	100V -50/60Hz
水タンク容量	約2400cc
消 費 電 力	350W
タ オ ル 温 度	ヒーター稼動時 最小80°C 維持可能
製 品 規 格	W340×D430×H500
製 品 重 量	約14Kg
使 用 条 件	適正周囲温度 常温3~35°C
製 造 日	
製 造 番 号	

※注意事項

1. 長時間使用しない場合は、電源コードを抜いて、排水栓を緩めて排水栓の水と水タンクの水を完全に抜いてください。
2. 特に冬期には凍らないよう注意してください。
3. 掃除時は基板に水が入らないよう注意してください。
4. ご不明な点がございましたら、ご購入先にご連絡ください。
5. その他、詳しい事項は使用説明書を御読みください。